

なつほのか通信 Vol.1



水稻新品种「なつほのか」とは？

2021.5月発行

「なつほのか」は、鹿児島県において、「にこまる」を親として育成された新しい品種です。現在、鹿児島県と長崎県で認定品種に採用されており、下のような特徴をもっています。

一般的な品種「ヒノヒカリ」と比較して…

- ◆出穂期は4日、成熟期は7日程度早い
- ◆大粒で千粒重は重く、収量性は高い
- ◆玄米の品質は優れ、食味は概ね同程度
- ◆高温耐性に優れ、耐倒伏性も強い

	なつほのか	ヒノヒカリ
出穂期	8月23日	8月27日
成熟期	10月8日	10月15日
玄米重(kg/10a)	641	594
千粒重(g)	23.2	21.4

(農林水産研究指導センター水田農業グループ)

「ヒノヒカリ」と同程度の良食味の品種で、令和2年産の穀物検定協会の食味ランキングにおいて、長崎県産「なつほのか」は初めての出品で最高ランクの『特A』を獲得しています。

「ヒノヒカリ」と比べて高温に強い



ヒノヒカリ

(農林水産研究指導センター水田農業グループ)



なつほのか

大分県内で広く栽培されている「ヒノヒカリ」は高温に弱く、白未熟粒の発生による品質低下が問題とされています。

「なつほのか」は高温に強いことから品質が優れる傾向にあります。

栽培がスタート & 育苗のポイント

竹田市の久住高原農業高校で「なつほのか」の播種が4月14日に行われました。「なつほのか」は「ヒノヒカリ」より苗が伸びやすいので伸ばしすぎには注意する必要があります。



ポイント✓

- ✓ 硬化時期に注意すること（「ヒノヒカリ」より1日早く）
- ✓ 箱粒剤を必ず用いること（いもち病に効果がある薬剤を）



作成者：大分県農林水産部 水田畑地化・集落営農課 (☎097-506-3596)
農林水産研究指導センター 水田農業グループ (☎0978-37-1160)